

(別紙 1)

同行援護従業者養成研修一般課程カリキュラム

教科名	目的	内容
I 講義 12 時間		
1 視覚障がい者（児）の福祉サービスと同行援護の制度に関する講義（3 時間）		
(1) 視覚障がい者（児）の福祉サービス (1 時間)	視覚障がい者（児）福祉の制度とサービス種類、内容、役割を理解する。	<ul style="list-style-type: none">・障がい者福祉の背景と動向・障がい者福祉の制度とサービス・視覚障害の概念と定義・視覚障害の現状・視覚障がい者の移動支援制度の変遷・移動支援と同行援護・移動に係る制度
(2) 同行援護の制度と従業者の業務 (2 時間)	同行援護の制度と従業者の業務を理解する。	<ul style="list-style-type: none">・同行援護概論・同行援護従業者の職業倫理・同行援護の制度・同行援護制度の利用・同行援護従業者の業務・リスクマネジメント（緊急時対応）・実務上の留意点
2 障がい者の障害・疾病に関する講義（2 時間）		
(1) 障害・疾病の理解① (2 時間)	業務において直面する頻度の高い障害、疾病を医学的、実践的視点で理解するとともに、援助の基本的な方向性を把握する。	<ul style="list-style-type: none">・視覚障がい者についての理解・視覚障害の実態とニーズ・「見え」の構造・同行援護の留意点
3 障がい者（児）の心理に関する講義（1 時間）		
(1) 障がい者（児）の心理① (1 時間)	視覚障がい者（児）の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。	<ul style="list-style-type: none">・先天性視覚障がい者の心理・中途視覚障がい者の心理
4 情報支援と情報提供に関する講義（2 時間）		
(1) 情報支援と情報提供 (2 時間)	移動中に必要な情報支援、情報提供の基礎を習得する。	<ul style="list-style-type: none">・言葉による情報提供の基礎・移動中の口頭による情報支援・状況や場面別での情報提供
5 代筆・代読の基礎知識に関する講義（2 時間）		
(1) 代筆・代読の基礎知識 (2 時間)	情報支援としての代筆・代読の方法を習得する。	<ul style="list-style-type: none">・代筆・代読・点字、音訳の基礎・情報支援機器の種類・自ら署名・押印する方法など
6 同行援護の基礎知識に関する講義（2 時間）		
(1) 同行援護の基礎知識 (2 時間)	同行援護の目的と機能を理解し、基本原則を把握する。	<ul style="list-style-type: none">・基本的な考え方・視覚障がい者への接し方・同行援護中の留意点・歩行に関する補装具・用具の知識・日常生活動作に係る用具の知識

		・環境と移動に伴う機器
II 演習 8時間		
移動支援に係る技術に関する演習 (8時間)		
(1) 基本技能 (4時間)	基本的な移動支援の技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつから基本姿勢まで ・基本姿勢の留意点 ・してはいけないこと ・歩行、曲がる ・狭い場所の通過 ・ドアの通過 ・いすへの誘導 ・段差・階段 ・交通機関の利用の基本
(2) 応用技能 (4時間)	応用的な移動支援の技術を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に応じた歩行 ・さまざまな階段 ・さまざまなドア ・エレベーター ・エスカレーター ・車の乗降 ・食事 ・トイレ ・車イス利用の視覚障がい者への対応

(別紙1)

同行援護従業者養成研修応用課程カリキュラム

教科名	目的	内容
I 講義 2時間		
1 障がい者の障害・疾病に関する講義 (1時間)		
(1) 障害・疾病の理解② (1時間)	業務において直面する障害・疾病を医学的、実践的視点でより深く理解する。	・「見える」ということ ・「見えること」と「行動」 ・弱視の見え方・見えにくさ ・盲重複障害について
2 障がい者(児)の心理に関する講義 (1時間)		
(1) 障がい者(児)の心理② (1時間)	視覚障がい者(児)の心理に対する理解を深め、適切な対応ができるよう習得する。	・障害の受容 ・家族の心理 ・視覚障がい者の人間関係
II 演習 10時間		
移動支援に係る技術に関する演習 (10時間)		
(1) 場面別基本技能 (3時間)	日常的な外出先での技術を習得する。	・窓口やカウンター ・買い物 ・雨、雪の日 ・金銭・カード ・電車の乗降 ・バスの乗降 ・飛行機の乗降点 ・船の乗降
(2) 場面別応用技能 (3時間)	目的に応じた外出先での技術を習得する。	・病院・薬局 ・式典、会議、研修など ・冠婚葬祭 ・盲導犬ユーザーへの対応
(3) 交通機関の利用 (4時間)	交通機関での移動支援技術を習得する。	・電車・バス利用時における移動支援の実際(改札口、ホームへの移動、電車の乗降、ノンステップバス、通常のバスの乗降など) ※実習に先立ち、オリエンテーションを実施すること。 ※実際の公共交通機関を利用すること。